

HP iLO 3 リリースノート 1.55

HP 部品番号: 616296-197
2013 年 2 月
第 1 版



© Copyright 2013 Hewlett-Packard Development Company, L.P

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、HP から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

商標

Microsoft® および Windows® は、Microsoft Corporation の米国における登録商標です。

Java は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

説明

HP iLO 3 ファームウェアを使用すると、サーバーをリモートで設定、更新、および操作することができます。ブラウザベースのインターフェイスまたは RBSU で iLO3 を設定できます。詳しくは、『HP iLO 3 ユーザーガイド』を参照してください。多数のツールおよび構文が iLO 3 をサポートします。詳しくは、『HP iLO 3 スクリプティング/コマンドラインガイド』を参照してください。iLO 3 の一部の機能はライセンスが必要な機能であるため、オプションのライセンスを購入しないと使用できません。詳しくは、HP の Web サイト <http://www.hp.com/go/ilo/licensing>（英語）を参照してください。

アップデートに関する推奨事項

推奨：新しい拡張機能、機能、および軽度のバグ修正が含まれています。

旧バージョン

1.50

製品モデル

HP iLO 3

オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 2008 R2
- Microsoft Windows Server 2008 W32
- Microsoft Windows Server 2008 x64
- Microsoft Windows Server 2003 R2
- Microsoft Windows Server 2003
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 Essentials
- Microsoft Windows Small Business Server 2003（ML300 シリーズ）
- Red Hat Enterprise Linux 5（x86、AMD64/EM64T）
- Red Hat Enterprise Linux 6（x86、AMD64/EM64T）
- SUSE Linux Enterprise Server 10（x86、AMD64/EM64T）
- SUSE Linux Enterprise Server 11（x86、AMD64/EM64T）
- VMware ESX/ESXi Server 4.0、4.1
- VMware ESXi 5.x

ブラウザ要件

iLO の Web インターフェイスを実行するために、以下のブラウザがサポートされています。

- Internet Explorer 7、8、9
- Firefox ESR 10
- Chrome

iLO の Web インターフェイスを使用する場合は、以下の設定を有効にする必要があります。

- **[JavaScript]** - このアプリケーションは、クライアント側の JavaScript を広範囲で使用します。
- **[Cookies]** - 一部の機能が正常に動作するために、Cookie を有効にする必要があります。

- **[ポップアップウィンドウ]** - 一部の機能が正常に動作するために、ポップアップウィンドウを有効にする必要があります。ポップアップブロックが無効になっていることを確認してください。

サポートされるデバイス

- HP ProLiant BL685c G7 サーバー
- HP ProLiant BL680c G7 サーバー
- HP ProLiant BL620c G7 サーバー
- HP ProLiant BL490c G7 サーバー
- HP ProLiant BL465c G7 サーバー
- HP ProLiant BL460c G7 サーバー
- HP ProLiant BL2x220c G7 サーバー
- HP ProLiant DL980 G7 サーバー
- HP ProLiant DL585 G7 サーバー
- HP ProLiant DL580 G7 サーバー
- HP ProLiant DL385 G7 サーバー
- HP ProLiant DL380 G7 サーバー
- HP ProLiant DL360 G7 サーバー
- HP ProLiant DL120 G7 サーバー
- HP ProLiant ML110 G7 サーバー
- HP ProLiant SL390s G7 サーバー
- HP ProLiant SL335s G7 サーバー
- HP ProLiant SL4545 G7 HyperStorage System

拡張機能

このリリースでは、以下の拡張機能を使用できます。

- CLI を使用してサーバー障害予測ビデオをリモート WebDAV または IIS サーバーに送信することができます。

修正点

このバージョンでは、以下の修正が加えられています。

- 一部のサーバーで CLI からの接続時に発生していたネットワーク接続の断続的な停止が、発生しなくなりました。
- iLO 3 が、Onboard Administrator との日時の同期化に失敗しなくなりました。
- 統合リモートコンソールを開くことができず、HTTP エラーの「The operation has timed out」が表示されることがなくなりました。
- FIPS Mode 設定が変更されたときに「Unhandled Exception」エラーが表示されなくなりました。
- iLO 3 Web サーバーの HTTP TRACE メソッドが無効になりました。この機能を有効にすることは、一部のセキュリティスキャナーで脆弱性としてレポートされていました。
- セキュリティスキャナーのために iLO 3 Web サーバーが応答しなくなり、watchdog によってリセットされることがなくなりました。

- ブレードサーバーでファームウェアが更新されたときに iLO 3 が間違った日付を表示しなくなりました。
- iLO 3 の証明書署名要求の countryName オブジェクトが、UTF8 オブジェクトから印刷可能文字列に変更されました。これにより、一部の認証機関で iLO 3 の証明書署名要求が拒否されなくなります。
- 障害予測ビデオを再生するときに、ビデオが表示されずに終了することがなくなりました。
- 十分な権限を持たないユーザーが、iLO のコマンドラインインターフェイスを使用してネットワーク設定を変更できなくなりました。
- iLO 3 のバッファサイズが、最大 3072 バイト長 (Base64 エンコード) の X.509 証明書ファイルのインポートをサポートするようになりました。
- インポートされた X.509 証明書に「surname」、「streetAddress」、「title」、「description」、「postalCode」、「serialNumber」、「givenName」、「initials」、「generationQualifier」、「uniqueIdentifier」、または「dnQualifier」属性が含まれている場合に、iLO 3 が証明書を破棄しなくなりました。

前提条件

- iLO 3 1.50 以降に更新するには、iLO 3 1.2x がインストールされている必要があります。
- 一部の iLO 3 機能は、iLO ライセンスパッケージの一部です。iLO ライセンスについて詳しくは、次の Web サイトを参照してください。<http://www.hp.com/go/ilo/licensing> (英語)。
- Java 統合リモートコンソールを使用するには、Java Runtime Environment, Standard Edition 1.4.2_13 以降をインストールする必要があります。
- .NET バージョンの統合リモートコンソールを使用するには、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 をインストールする必要があります。
- .NET 統合リモートコンソールは、.NET Framework の一部である Microsoft ClickOnce を使用して起動します。
 - Mozilla Firefox では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Microsoft .NET Framework Assistant のような ClickOnce プラグインがあると、Mozilla Firefox のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。.NET Framework Assistant は、次の Web サイトからダウンロードできます。<https://addons.mozilla.org/ja-JP/firefox/addon/microsoft-net-framework-assist/>
 - Google Chrome では、ClickOnce アプリケーションを起動するためにアドオンが必要です。Chrome ブラウザー用の ClickOnce プラグインがあると、Chrome のサポートされるバージョンから .NET IRC を起動できます。このプラグインは、次の Web サイトからダウンロードできます。<http://code.google.com/p/clickonceforchrome/>

インストール手順

インストール手順については、次のマニュアルを参照してください。

『HP iLO 3 ユーザーガイド』

製品番号： 616301-004

版数： 1

問題と推奨処置

問題：『HP iLO 3 ユーザーガイド』には、.NET IRC を使用するために Microsoft .NET Framework 3.5 が必要であると記載されているが、正しい必須バージョンは、Microsoft .NET Framework 3.5 Service Pack 1 である。

推奨処置：.NET IRC を使用する場合は、バージョン 3.5 Service Pack 1 がインストールされていることを確認してください。